

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス あんプラス江戸川橋		
○保護者評価実施期間	令和7年10月3日		～ 令和7年10月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数) 48
○従業者評価実施期間	令和7年10月18日		～ 令和7年10月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	より多くの児童が参加したいと思えるような、多様な活動プログラムを組んでいること。	平日の個別課題だけでなく、集団活動や、土曜日・祝日のイベントに関しては、児童からの要望を聞くなどして、今児童がやりたいことにフォーカスしたプログラムを組むようにしている。	他教室の児童と一緒に活動する機会を増やし、多くの人とかわることができるようにしていく。また、スポーツのイベントで人気があるものについては、繰り返し取り組むことにより、児童が上達の喜びや自信を得られるようにしていく。
2	個に応じた支援を実施していること。	平日はマンツーマンでの支援体制を整えることによって、児童一人一人の課題を把握し、それぞれに応じた支援を行っている。また、活動内容によって、各自が取り組みやすいようにスタッフ配置や方法を工夫するなどしながら進めている。	支援に参画する全ての職員が、児童の特性や課題について共通認識を持ち、同じ方向性で支援することができるよう、記録の整備やスタッフ間の情報共有を密に実施していく。
3	児童にとって安心できる場所であること	肯定的な声かけを日ごろから積極的に行うことにより、児童の自己肯定感を育てるとともに、悩みや困りごとはすぐに職員に相談できるような環境づくりを心がけている。また、通所を開始したばかりの児童や、コミュニケーションに課題がある児童に関してはスタッフがそばにつくなどしながら、皆が安心して活動できるようにしている。	児童や保護者からの様々な相談事に対応できるよう、特定の職員だけで抱え込まず、チームアプローチによって解決を図るようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等による保護者同士の交流など、家族への支援・きょうだいへの支援が十分でない。	父母の会の設立や、保護者同士の交流を望む声はあまりなく、きょうだいにに向けたイベントなども企画に至っていない。	保護者や児童の要望も聞きながら、家族・兄弟で参加できるイベントや、保護者向けの会なども、機を見て可能であれば実施していく。
2	放課後児童クラブや児童館、地域のこどもと交流する機会が少ない。	放課後児童クラブや児童館との接点が今のところなく、他事業所とのかわりを望まない声も見られたため、積極的に実施してこなかった。	地域のお祭りなど、行事を通じて地域のこどもと交流する機会とすることを検討していく。
3	事業所では、ペアレントトレーニングや家族等も参加できる研修会、情報提供などの家族支援プログラムが行われていない。	保護者向けの講演会を希望する声はあまりなく、今年は講演会などの形で実施してこなかった。	ご家族に向けた情報については面談等で提供している。今後も情報提供をしっかりと行っていくとともに、家族支援プログラムの充実を図っていく。